

報道発表資料
平成 29 年 1 月 5 日
福岡管区気象台
鹿児島地方気象台

薩摩硫黄島の現地調査の実施について

本日（5日）、鹿児島地方気象台が気象庁機動調査班（JMA-MOT）を派遣し薩摩硫黄島上空からの現地調査を行いました。調査結果については、下記のとおりです。

また、6日から8日に予定していた薩摩硫黄島の地上における現地調査については、天候の悪化が予想されるため、10日から12日に延期しました。

記

本日（5日）、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が鹿児島県の協力により上空からの観測を実施しました。硫黄岳山頂火口付近は雲に覆われており、噴煙を確認することができませんでした。山腹からは弱い噴気を確認し、前回（2016年5月31日）の観測と比較して、若干の噴気の増加が認められたものの、大きな変化はありませんでした。赤外熱映像装置による観測では、火口周辺及び山腹で熱異常域を観測しましたが、前回（2011年12月19日）と比較して、熱異常域の拡大や高まりは認められませんでした。

このことについて、火山の状況に関する解説情報及び火山活動解説資料を発表しています。

火山の状況に関する解説情報 第3号（16時00分発表）

http://www.jma.go.jp/jp/volcano/info_05_20170105160018.html

火山活動解説資料（19時15分発表）

http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/fukuoka/17m01/201701051915_508.pdf

問い合わせ先

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター
電話：092-725-3606